

3月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 48号

2017年6月8日発行
鳥取県大山町議会



www.daisen.jp/gikai/



新議員決まる…………… 2

臨時議会 副町長決まる ……………28

11人が一般質問 …………… 16

記録に挑戦 一斉スタート

新たなスタート

新たな議会の構成は、30 ページに掲載しています。



岡田 聡

(おかだ さとし)

4期 無所属 78歳 中高一区



西尾 寿博

(にしお としひろ)

4期 無所属 63歳 曲松



野口 昌作

(のぐち しょうさく)

3期 無所属 73歳 八重



副議長

吉原 美智恵

(よしはら みちえ)

4期 無所属 64歳 押平2区



米本 隆記

(よねもと たかよし)

3期 無所属 59歳 上坪東

副議長に選出いただき、ありがたくも責務の重さを痛感しています。大山町の現状は、多くの課題が山積しており、解決に向けての取り組みが急務です。

二元代表制のもと、行政と議会がともに一丸となって、本町の発展と住民福祉の向上を目指して、議長とともに一生懸命、力を尽くします。

皆さまのあたたかいご支援、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。



森本 貴之

(もりもと たかゆき)

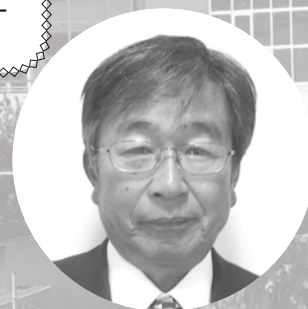
1期 無所属 31歳 安原



門脇 輝明

(かどわき てるあき)

1期 公明党 65歳 福尾



大原 広巳

(おおはら ひろみ)

2期 無所属 60歳 所子

新議員が決まり

平成 29 年 4 月 16 日の一般選挙で選出された議員を紹介します。
(任期平成 29 年 4 月 24 日～平成 33 年 4 月 23 日)



近藤 大介

(こんどう だいすけ)
4期 無所属 50歳 上前谷



野口 俊明

(のぐち としあき)
4期 無所属 68歳 赤坂



西山 富三郎

(にしやま とみさぶろう)
4期 無所属 81歳 押平3区



大森 正治

(おおもり しょうじ)
3期 日本共産党 68歳 坊領

議長

杉谷 洋一

(すぎたに よういち)
3期 無所属 69歳 平



このたび、議長にご推挙いただき身に余る光栄であり、責任の重さに身が引き締まる思いです。

議会と執行機関は従来の慣例に捉われることなく、真摯に議論を行い創意工夫と努力を積み重ね、議会の運営が住民の皆さまから信頼され、「より開かれた議会づくり」へ、また、本町の将来をしっかりと見据え、活力と魅力があり安全で住みよい、希望に溢れたまちへの発展と住民生活の向上を目指し、全力で取り組んでいきます。今後も議会活動に、皆さま方のご指導、ご鞭撻をよろしく申し上げます。



大杖 正彦

(おおつえ まさひこ)
2期 無所属 70歳 大山



加藤 紀之

(かとう のりゆき)
2期 無所属 41歳 御来屋3区



池田 幸恵

(いけだ ゆきえ)
1期 無所属 44歳 退休寺

99億3,000万円

3月定例会は、3月2日から16日までの15日間の会期で行いました。

4月に任期満了による町長選挙が行われるため、骨格予算となりました。

平成29年度一般会計・特別会計・水道事業会計の16議案、条例改正9議案、平成28年度補正予算26議案など全56議案を審議した結果、すべて原案どおり可決しました。

また、今回問題となった職員AによるNPO不正経理問題、商工会との不正処理などに関し、事務改善検討委員会から再発防止策について町長に報告がありました。町長が定例会初日に議場で説明しました（関連ページ15、18、19、21、24、26ページ）。

主な継続事業

- がんばる農家プラン事業**
..... **2,500万円**
意欲ある認定農業者が作成するプランへの支援
- 地域自主組織育成事業**
..... **2,682万円**
住民の公共的な活動の中心となる組織への支援
- 家庭保育支援給付金**
..... **1,800万円**
生後57日から満2歳まで、1人月額3万円支給。ただし、育児休業給付金を受給していない家庭が対象



充実してます子育て支援

主な新規事業

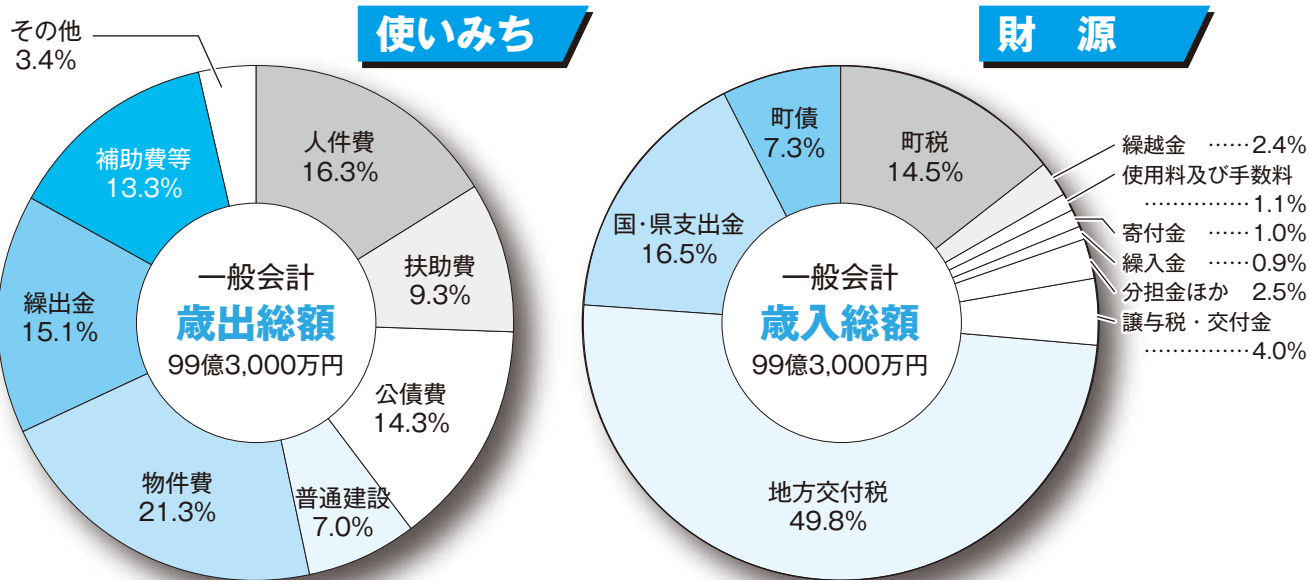
- 水産物供給基盤機能保全事業**
..... **1,200万円**
御来屋漁港機能保全計画の推進



整備を待つ御来屋漁港

- 町道中山インター線**
..... **1,100万円**
山陰道中山ICから国道9号線を直結させる事業の推進
- 園芸産地拡大支援モデル事業**
..... **255万円**
稲作農家の経営多角化を推進する

骨格とはいえ



◆一般会計 内訳 (金額・説明)

項目		29年度	28年度	比較増減	説明	
歳入	自主財源	町税	14億4372万円	14億2931万円	1441万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
		分担金ほか	4億5432万円	4億6782万円	△1350万円	分担金・使用料及び手数料・財産収入・寄付金
		繰越金	2億4000万円	3億円	△6000万円	前年度からの繰越金
		繰入金	8579万円	2億4400万円	△1億5821万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
	依存財源	譲与税・交付金	3億9432万円	4億523万円	△1091万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
		地方交付税	49億5000万円	51億円	△1億5000万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
		国・県支出金	16億3965万円	17億5584万円	△1億1619万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
		町債(借金)	7億2220万円	12億8780万円	△5億6560万円	町が事業を行うために借り入れるお金
合計	99億3000万円	109億9000万円	△10億6000万円			
歳出	義務的経費	人件費	16億1651万円	16億9432万円	△7781万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
		扶助費	9億2165万円	9億6974万円	△4809万円	医療費・児童手当などに使うお金
		公債費(借金返済)	14億2209万円	15億7110万円	△1億4901万円	町の借金を返済するためのお金
	投資的経費(普通建設事業)	7億364万円	12億7986万円	△5億4622万円	道路整備・建物などの建設に使うお金	
	その他	物件費	21億819万円	22億4355万円	△1億3536万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
		補助費等	13億1487万円	13億630万円	857万円	補助金・負担金、自動車や建物の保険料、謝礼金など
		積立金	1億5693万円	2億3108万円	△7415万円	町の基金に積み立てるお金
繰出金		15億358万円	15億1594万円	△1236万円	特別会計に繰出金として支出するお金	
その他	1億8254万円	1億7811万円	443万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金		
合計	99億3000万円	109億9000万円	△10億6000万円			

チェックします 新年度予算

議案の質疑討論

質疑

一般会計予算

◆デマンドバスのバス停は

〔大森議員〕

高齢者の免許証自主返納が増えていく。デマンドバスの利便性の向上は。

〔企画情報課長〕

集落のバス停の新設・変更することで利便性をはかっている。

バス停の間隔が200m以上あれば対応できるので、区長さんを通じてお知らせしている。全体的には、タクシー事業者とのことも勘案し、公共交通会議で検討している。



もっと便利に使いたい

◆起業支援

もうける力創造事業

〔遠藤議員〕

地域のもうける力創造事業の内容は。

〔地方創生本部事務局長補佐〕

地域の起業支援を行っている。

資金調達の相談窓口や、マネージメントやマーケティングの相談、講師の派遣などに対応する。

また、空き家を活用した支援事業もあり、使う前提にして修繕した場合に最高500万円まで補助する。対象はサテライトオフィスや地域自主組織などである。



女性の起業支援も積極的に

◆新たに土曜日開設 子育て支援センター

〔杉谷議員〕

子育て支援センターの体制は、どうなっているか。どのように充実をはかるか。

〔幼児学校教育課長〕

中山みどりの森保育園、大山きやらぼく保育園、ふれあい会館（名和）の3か所で、それぞれ保育士1名、補助

職員1名の2名体制で運営している。

新年度は、持ち回りで、土曜日の午前も開設し、父親の参加を促していきたい。

◆希望増えれば補正で 不妊治療費助成

【岡岡議員】

不妊治療費助成事業の予算は111万円だが、27年度決算

では、137万円の

実績がある。予算が

足りなくなったら補

正対応する考えか。

【健康対策課長】

希望者が多い場合

は、増額し対応する。

◆補正で検討 イノシシ肉処理施設

【野口昌議員】

イノシシ肉の特産化に向け、大山ジビエ振興会が発足した。処理加工所建設を支援する予算は。

【町長】

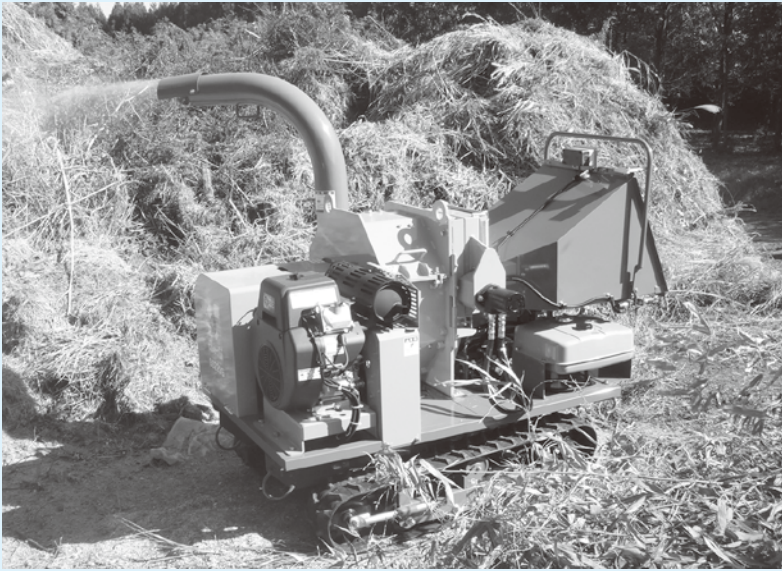
骨格予算のため、予算化していない。自力で加工販売、施設運営するというところで、難しい事業だと思っている。

衛生や品質の管理、自立した経営ビジョンなど見通しが立てば、補正予算で対応し、支援をしていく。



増える有害鳥獣対策に

◆間伐、竹林整備 森林資源活用



竹林整備にどんどん活用を

【吉原議員】

国産木材が見直され、間伐の強化も必要だ。循環型森林資源活用計画推進事業の内容は。

【農林水産課長】

主なものは破砕機3台の購入で、町民に貸し出す。周辺で邪魔になっている竹林等を伐採する際に利用できる。

集落で取り組む場合は無料で、個人の利用は有償。

このほか、間伐を促進するため、助成金も含まれている。

◆コールセンターから健診のお知らせ

【西尾議員】

まったなし健康づくり事業で、特に重点を置くのは何か。

【健康対策課長】

健診事業に力を入れていく。要望の多い胃カメラによる胃がん検診の予算を増

やした。また、昨年度に続き、コールセンターを利用したがん検診の勧奨を行っていく。

◆牛馬市を映像で再現 日本遺産PRに

【加藤議員】

大山開山1300年事業、日本遺産の事業は、予算にどう反映されているか。

【観光商工課長】

1300年事業については、県西部の市町村や鳥取県で構成する協議会の負担金として支出し、共

同事業を行う。

日本遺産では、牛馬市の様子をCG（コンピュータグラフィックス）で再現したPR映像の作成など。国立公園満喫プロジェクトと合わせ、県西部で連携し盛り上げていく。



かつての大山牛馬市のにぎわい



大山の玄関口がリニューアル（旧こもれび館）

◆旧こもれび館など 総合ビジターセンターに

【岡田議員】

情報館で行っていた観光案内所の委託業務はどうなるか。

【観光商工課長】

環境省の情報館、県の自然歴史館、今後、(株)さんどうが管理する旧こもれび館、この3館を合わせて、

総合ビジターセンターの役割を担っていく。

情報館は、登山客向けの基地になり、観光局や観光案内所を旧こもれび館に集約し、インバウンド対応や、総合案内機能を持たせる。

討論

【反対…圓岡議員】

電柱移転工事補償金で、根拠のない歳入を見込んでいる。

同対策施設修繕料は特定の集会所に支出され道理が通らない。

保健福祉センターと名和診療所の光熱費は、区別されてなく、会計上の問題がある。

同和地区の進学奨励交付金は、地区と地区外で区別すべきでない。

【賛成…大杖議員】

人件費や扶助費を削減し行財政改革に取り組んでいる。

地場産業を支援し、地域自主組織など地域が頑張る事業への支援策も見込まれている。

なにより、大山開山1300年の行事など観光振興に重点が置かれ、楽しさ自給率を高める予算となっている。

【賛成…西山議員】

部落差別解消推進法が施行された。義理と人情こそが、同和対策の神髄であり、人間の神髄でなくてはならない。

訪れてみたい、住んでみたい、きらりと光り、強くしなやかなふるさと大山町を目指す予算だ。

質疑

夕陽の丘神田特別会計予算

◆フットボールセンターの成果は

平成29年度予算は1652万円で、前年度に比べ154万円の増。フットボールセンターの整備から5年目となり、指定管理事業者との管理委託契約の最終年度になる。

〔野口昌議員〕

施設の利用状況はどうか。

〔観光商工課長〕

平成27年度は5万3千人。町内のスパ小やグラウンドゴルフにも使われている。

〔米本議員〕

合宿など宿泊の収入は増えていない。指定管理料支出も見込みほど減っていない。建物が老朽化するが、今後はどうなるか。

〔町長〕

施設が古くなり、修繕費も増えるため、施設のあり方は今後協議が必要になる。

〔岩井議員〕

グラウンドの芝もはがれ、このままで誰も来なくなる。

〔町長〕

町民はグラウンドゴルフに使えないと言っている。

〔町長〕

再生力が強い洋芝なら解消できるが、地元生産者に配慮し、地元の芝を使っておりやむを得ない面もある。



建物（山香荘）の老朽化が課題

質疑

国民健康保険特別会計予算

◆基金がなくなり、

法定外繰入2000万円

平成29年度予算は、25億8738万円で、前年度に比べ、5268万円の増になった。

〔近藤議員〕

高額な医薬品の普及などにより医療費の支出が増えた結果、歳入不足が見込まれ、一般会計から2000万円を繰り入れる予算になっている。

〔近藤議員〕

保険税の収入が前年度より2500万円増で見込んであるが、保険税を引き上げるか。

〔住民生活課長〕

予算の見積もりでは、税率を据え置いた場合、加入者減のため、収入は9405万円減るが、3500万円の財源不足を補う

ためには、これからの税収が必要になる。

保険税を引き上げるかどうかは、28年度の会計を閉めたあと、収支を再計算した後に協議し、決定していく。

討論

〔反対…圓岡議員〕

町の間人ドックは、慢性閉塞性肺疾患に対応できていない。住民福祉の向上のため、米子の医療機関も含め、健診の体制・仕組みを考え直すべき。

〔賛成…吉原議員〕

国保の加入者は低所得者が多く、保険税の引き上げは慎重に考える必要がある、最小限の法定外繰入をしなければならぬ場合もある。予算は、健康・医療・介護と財政に関する調査特別委員会のまとめに沿ったものだ。

一目でわかる 審議結果

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	氏名	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	圓岡伸夫	遠藤幸子	米本隆記	大森正治	杉谷洋一	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岩井美保子	岡田聰	西山富三郎	結果	
3月定例会																		
平成28年度大山町一般会計補正予算(第11号)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成13人可決
平成28年度大山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成13人可決
平成28年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	賛成11人可決
町道路線の認定について(町道 中山インター線)		○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成13人可決
平成29年度大山町一般会計予算		○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成12人可決
平成29年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成13人可決
平成29年度大山町夕陽の丘神田特別会計予算		○	○	○	×	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成12人可決
平成29年度大山町国民健康保険特別会計予算		○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成12人可決
平成29年度大山町国民健康保険診療所特別会計予算		○	○	○	×	○	○	欠	○	○	×	×	○	○	○	○	○	賛成11人可決
平成29年度大山町風力発電事業特別会計予算		○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成13人可決
大山町議会委員会条例の一部を改正する条例について		○	○	×	×	○	○	欠	○	○	×	×	○	○	○	○	○	賛成10人可決
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について		○	○	○	○	○	○	欠	×	○	×	×	○	×	○	○	○	賛成10人可決

3月定例会の議案の採決は、野口俊明議長を除く15人で行います。

議案	氏名	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岡田聰	野口俊明	西山富三郎	結果
4月臨時会																	
副町長の選任について		×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	賛成7人否決
監査委員の選任について		○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	-	賛成10人同意
5月臨時会																	
副町長の選任について		○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	賛成8人同意

※監査委員の選任について、西山富三郎議員は監査委員選任議案の対象のため採決に加わっていません。
4月臨時会、5月臨時会の議案の採決は、杉谷洋一議長を除く15人で行います。

○全会一致の議案

3月定例会 条例(9件)、規約変更等(1件)、辺地計画変更(1件)、過疎計画変更(1件)、当初予算(10件)、補正予算(23件)、土地売買契約(1件)

4月臨時会 条例(2件)

5月臨時会 人事案件(6件)

常任委員会の活動

総務 常任委員会

総合戦略の検証

- Q 地方総合戦略を検証する委員は、どういうメンバーか。
- A 女性団体連絡協議会をはじめ、金融機関、鳥取大学、企業連絡会、労働組合にお願いしている。

地方創生本部事務局

運転免許の自主返納

- Q 運転免許証を自主返納する高齢者へのさらなる支援を考えてはどうか。
- A 予算には含まれていないが、今年度中に検討会議を予定している。

企画情報課

交付税の合併算定替

- Q 地方交付税の見直しはどうか。
- A 今年度は合併算定替が3割減から5割減になるが、算定方法の見直しなどで予想より減額が少なく、約3%の減額に止まっている。

総務課

平成29年度は2,682万円



地域自主組織育成事業

総務委員会では3月6日、7日、8日の3日間、上程議案の説明を各課から受けた。平成29年度一般会計予算は、改選にともなう骨格予算ということもあり、対前年度比10億6000万円減の総額99億3000万円の予算となっている。

太空海号



太空海号

- Q 風力発電事業の展望はどうか。
- A 延命化のため、今年度から4年間をかけて修繕を予定している。これにより、平成37年まで運用が可能と見込んでいる。

企画情報課

総合窓口室

- Q 今年度はどんな事業を行う予定か。
- A 総合窓口室として、フォーラムなかやま水路の土砂撤去や、温泉館ロビーと脱衣室のエアコン改修などを考えている。

地籍調査課

経済建設 常任委員会

大山ツーリズム協議会

Q 28年度事業を繰越金の中で行ったこの団体の運営は、どうなっているのか。

A これまで総会も開かれず、役員も決まっていない。28年度には約280万円を繰り越している。早急に総会を開き、体制を整えたい。

観光商工課

事業の改善計画

Q 水道事業の統合の内容は。

A 水道事業の一本化が認可された。同一サービス=同一料金が基本で旧町単位の水道料金が段階的に整備され、平成29年4月1日にスタートする。

水道課

除雪費用に1億円

Q この冬の除雪費用は。

A 12月から2月末までで、計30日出動した。各集落での集落内除雪に622万円や、業者委託に1272万円など、道路除雪費の総額で1億866万円を見込んでいる。

建設課

これで大雨台風も安心



坊領向原線の阿弥陀川橋予定地

3月8日に、坊領向原線橋梁きょうりょう工事の視察を行った。これまで何度か大水で流され、通行に大きな支障が生じた現場で、向原集落とブルーベリー畑などへの通行が安全となる。完成は平成30年度中の予定。

親元就農制度

Q 制度の利用状況は。

A 認定農業者などの後継者が親元に就農する際に、親が子に対して行う研修に対し、最長2年間の助成を行う制度。現在18人に助成。29年度は11人を予定している。

農林水産課

町道中山インター線



9号線との接続予定地付近

Q 計画路線の内容は。

A 国道9号線甲橋東側の旧道分岐付近から、ナスパルタウンに向けて6mの本線と4mの歩道を計画している。測量委託料1000万円などを計上している。

建設課

教育民生 常任委員会

家庭保育支援

Q 2年目になる事業の変更点は
どうなっているか。

A 平成28年度までは1歳までとしていたが、平成29年度から対象児童を満2歳までとした。金額は同じ月3万円(育児休業給付金の受給者は除く)

幼児・学校教育課

土曜授業

Q 取り組みの内容は。

A 中山公民館が主体となって、小学生の土曜日における教育活動の充実をはかる。地域における多様な学習や体験活動を中心に事業を推進していく。

幼児・学校教育課

検診率向上

Q がん検診などの受診率向上に向けた新規の対策の内容は。

A 未受診者に対してダイレクトメールの発送と、コールセンターを活用した個別受診勧奨を推進していく。

健康対策課

間仕切りカーテンで保育



大山きゃらぼく保育園内

3月9日、改修中の大山きゃらぼく保育園を視察した。3歳児クラスが40人を超えたため、幼児が落ち着かなく、集中力が散漫になってきたので、部屋を仕切ることにした。2組に分けることで適切な保育が行われることが期待される。

向原4号墳

Q 新規事業だが内容は。

A 町道向原坊領線の拡幅にともない、開発範囲に所在する向原4号墳の発掘調査を実施し、現地調査および出土遺物などの整理作業を行う。

人権・社会教育課

国保会計

Q 平成28年度の収支状況は。

A 本会計は5月末にならないと確定しないが、インフルエンザの流行などで支出が増える可能性があり、大事をとって法定外繰り入れ2000万円と保険料3500万円の収入を計上している。

住民生活課

野良猫対策

Q 新規事業だが内容は。

A 県の支援で始まる事業である。飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を受けさせる者に、その手術費の一部を補助し、野良猫の増加抑制を図る。手術後は、元いた場所に戻す。

住民生活課

特別委員会報告 《予算審査》

平成29年度予算案を、議員16人で構成する予算審査特別委員会において、集中審議を行いました。審査の結果、付託された議案すべてを可決しました。

今年度は、町長、町議会議員の改選期にあたり、骨格予算としての位置づけであり、対前年度比9.6%減の総額99億3,000万円となっています。

骨格予算ながら、新規事業として、地域おこし協力隊起業支援事業、町道中山インター線の調査委託料、「大山開山1300年祭」のプレ・イヤー対策費として、大山山麓協議会負担金などが盛り込まれています。

継続事業としても、対象児童を満2歳まで拡充する家庭保育支援給付金、坊領向原線の橋梁工事費などが計上されています。

付帯意見

(1) 町民総健康づくり運動が3年目を迎える。

取り組む計画に対して、着実に成果があがるよう求める。

大山診療所については、経営の収支、実績があがるようさらに努力を求める。

(2) 基金などの運用計画や運用状況について、今後は提示されるよう求める。

特別委員会報告 《議会改革調査》

1. 議員の資質向上

(1) 議員研修会、議員勉強会の開催

議員個々の政策能力と地方分権時代の議員の資質向上のため、国際文化アカデミー研修を基本に受講すると共に、本町議会独自の勉強会を開催する。

(2) 「議員と語る会」

参加者の減少と固定化傾向が見られる、今後は集落・サークル・団体等へ議員自らが出かけ、住民との対話を大切にしたい開催方法も検討する。

(3) 政務活動費は支給すべきでないとした。

2. 情報公開、住民参画について

(1) 各常任委員会は、所管の各種団体と意見交換会を積極的に開催する。

(2) 各常任委員会のテレビ中継については、今後の課題とした。

(3) 「議会だより」は更に住民に読まれる編集の充実と質向上に必要な研修を行う。

3. まとめ

議員勉強会後の協議事項である「事務事業評価」、改選後の新人議員の研修方法などは今後の検討課題とした。

特別委員会報告 《NPO》

平成 28 年秋に発覚した、行政による NPO 法人「大山王国」との委託契約に関する疑惑について調査するため、議会は調査特別委員会を立ち上げた。3 カ月にわたる調査の結果を議長に提出し、3 月 16 日の本会議で報告した。概要は以下のとおりである。

1. 調査結果

(1) 「大山王国」側の問題点

- ① 実績報告が年度内に行われていない事業が半数ある。
- ② 委託契約書のある事業の領収書等が完全にそろっていない。そのため、特別監査の時点では、領収書等の金額が契約金額よりも合計で約 2800 万円少ない。これは使途不明金として疑念が残り、理事（職員 A）による私的流用などの疑いも残る。
- ③ 領収書等の中には、宛名や日付がないもの、宛名が同一筆跡と思われるものなど、不備な領収書が少なからず見られる。
- ④ 「大山王国」の預金口座から理事（職員 A）個人の預金口座に平成 21 年度から毎年事業費が振り込まれている。理事（職員 A）が立て替え払いした補填とはいえ、個人口座に振り込むこと自体が大問題である。

(2) 大山町側の問題点

- ① 職員 A は、理事としての受託業務を勤務時間中にも行わざるをえず、公務員の職務専念義務に違反していた。
- ② 「大山王国」との随意契約は、十分な審査が行われず不適切なものであった。
- ③ 平成 26 年度までは大山町財務規則に反して概算払いをしてきた事業があった。
- ④ 「大山王国」は実績報告書を期限内に提出しないのに、町はそれを見過ごしてきた。

以上、「大山王国」と町の両者にずさんともいえる不適正な事務・経理の処理が長年行われてきた。その要因は、同一人物が委託と受託を兼ねていたことにある。

職員 A は、「大山王国」や大山町行政の信用を失墜させた責任は重大である。また、それがチェックできないまま事業を継続してきた町行政のあり方も大きく問われなければならない。そして、議会も結果論として同様に問われなければならない。

2. 今後の改善点

以上の調査結果を踏まえて、再発防止のために、行政をどう改善・改革し、公正な行政運営に努めるべきか提言する。

- ① 委託事業に当たっては、委託と受託を兼務することは絶対に行うべきでない。
- ② 職員の適度な人事異動が必要である。
- ③ チェックが十分機能する態勢を構築し、随意契約の審査は厳格に行う必要がある。
- ④ 職員の財務に関する研修を行うなど、財務規則を守る必要がある。
- ⑤ 契約事務にかかわるガイドラインや、検査要綱・検査マニュアルなど必要である。
- ⑥ 公金を扱う行政職員は、住民奉仕という行政の基本に立ち返って、適正な業務を遂行すべきである。

など、10 項目の指摘事項については、早急に解決策を構築し実行されたい。

残された疑問点については、今後、行政の責任で解明して、公表し、解決されたい。